

超警級作家

福井晴敏最新刊

『亡国のイーゼス』『終戦のローレライ』に
続いて放つ初の経済サスペンス超大作

人類資金

【敵】は“世界のルール”【武器】は10兆円！

〔スリルと感動の超大作はこうして生まれた！ 2つの才能の激突〕

始まりは2005年。映画『亡国のイーゼス』で、原作者と監督として二つの才能が出会ったことに端を発する。阪本順治監督は、長年温めていたテーマ「M資金」を題材に再びタッグを組むことを福井晴敏に提案した。かつてデビュー前の習作で「M資金」を描いていた福井はこれに共鳴し、独自のアプローチでリサーチを始めた。それは日本の戦後史を奥深く掘り下げる作業となり、史実をもとにした壮大な仮説が組み上がっていった。そして「M資金」は歴史上の仮説にとどまらず、現代日本の、ひいては世界の根幹に深く関わる問題であることが浮き彫りになっていった。



「M資金」は実在した…終戦時、一人の陸軍大尉が、ある志に基づいて日銀の地下倉庫から盗み出し隠匿した、軍の隠し資産である莫大な金塊の。ちにそれはある財団に管理運営されることになり、戦後日本復興の陰で不可欠の存在となった。しかし時は流れ、金融資本主義が席卷する世界に歩調を合わせるかのように、「M資金」もまたその有りようを変化させていった。そして……。

歴史の闇をまとう「M資金」を通じて先の見えない現代社会を照射し、誰も幸せにしないまま暴走する資本主義の本質を突く、未曾有のエンターテインメントが誕生した。『亡国のイーゼス』では国防問題を、『終戦のローレライ』では戦争を小説のテーマとして選んだ福井は、本作では「今すべての人にとって最も切実なこと」として「経済」に正面から取り組む。もともと経済に明るいわけではない。しかしそれゆえに、経済の専門家には見えないかもしれない真実を小説家として探り当て、臆することなく描き出したのだ。

すべての人類のために。小説と映画はその思いをひとつにして、今それぞれの幕を開ける。

電子書籍版 100ページ 先行無料公開！

書き下ろし全7巻連続刊行！！（～2014年新春）

映画は**10月19日**
全国松竹系公開！

1巻	特別定価：263円(税込) ISBN: 978-4-06-277617-2 文庫：208ページ	2巻	定価：525円(税込) ISBN: 978-4-06-277618-9 文庫：208ページ	※特別定価期間：2014年3月31日まで。 以降は、定価：525円(税込)とさせていただきます。
-----------	---	-----------	---	---

〔エコミック・サスペンス超大作 それを届けるための様々な仕掛け〕

原作は講談社文庫書き下ろしとして、8月9日に第1巻と第2巻を同時刊行（共に初版10万部）という形で堂々のスタートを切ります。しかも、第1巻（208ページ）は、250円（本体）という驚きの特別定価（期間限定）に設定しています。※第2巻（208ページ）は500円（本体）。創刊42年、流通タイトル約3000という、歴史とボリュームを誇る講談社文庫にあって、「特別定価」をつけるのは初の試みであるだけでなく、1割、2割の割引ではなく相場の半額という値引率も前代未聞です。

また、電子書籍版も各主要電子書店より配信いたします。以前より弊社は積極的に電子化を推進しておりましたが、タブレット、スマートフォンなど、端末も多様化し、電子書籍市場も拡大を続ける昨今、読者の皆様からの要望に対応すべく、紙の刊行と同日からの配信となります。さらに「無料試し読み版」として、刊行2週間前にあたる7月26日より、先行配信いたします。通常の「立ち読みファイル」の容量を大きく超える、第1巻の約半分にあたる部分を収録しており、いち早く「人類資金」の世界観に浸ることができるものとなっております。

本原作小説は、9月、10月、11月～と、あたらかも「月刊人類資金」のように連続刊行し、全7巻で構想されている超大作です。そして、原作小説が連続刊行中の真っ只中である10月に映画版が公開！ ノベライズではなく、書き下ろし「原作」が刊行されている最中の映画公開という、書き下ろし文庫の価格、電子書籍版100ページ無料公開など、画期的なプロジェクトです。

◎著者・監督への取材、調整可能です。◎キャストへの取材は、お問合せください。

原作・脚本：福井晴敏
脚本・監督：阪本順治（『どついたるねん』『顔』『亡国のイーゼス』『大鹿村騒動記』『北のカナリアたち』他）
出演：佐藤浩市 香取慎吾 森山未來 観月ありさ
石橋蓮司 豊川悦司 寺島進 三浦誠己
岸部一徳 オダギリジョー ユ・ジテ
ヴィンセント・ギャロ 仲代達矢 ほか

福井晴敏（ふくい・はるとし）
1968年東京都墨田区生まれ。私立千葉商科大学中退。97年、警備会社に勤務するかたわら応募した小説『川の深さは』が第43回江戸川乱歩賞選考会で大きな話題となる。（後に加筆訂正を経て出版）98年『Twelve Y. O.』で第44回江戸川乱歩賞を受賞し小説家デビュー。99年に刊行された受賞第一作『亡国のイーゼス』で第2回大藪春彦賞、第18回日本冒険小説協会大賞、第53回日本推理作家協会賞をトリプル受賞。2003年『終戦のローレライ』で第24回吉川英治文学新人賞、第21回日本冒険小説協会大賞をW受賞。05年に原作を手がけた映画『ローレライ』（原作名：終戦のローレライ）『戦国自衛隊1549（原案：半村良氏）』『亡国のイーゼス』が相次いで公開され話題になる。その他の作品に『小説・震災後』（光文社）、『Op.ローズダスト』（文藝春秋）、『機動戦士ガンダムUC』（角川書店）などがある。

